

平成 22 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【概要】

I 調査の概要

1 調査実施日

平成 22 年 4 月から 7 月末までの期間で実施

2 調査内容

(1) 調査対象

- ・小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年
- ・中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(2) 調査の方式

文部科学省が調査対象として抽出した学校における前述(1)の学年の全児童生徒を対象として全国的な抽出調査を行う。

(3) 調査事項

① 児童生徒に対する調査

- ・実技に関する調査

[小学校、中学校 8 種目]

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、

※持久走(男子 1500m 女子 1000m)、20m シヤトルラン、

50m 走、立ち幅とび、ボール投げ(小学生ソフトボール、中学生ハンドボール)

※小学生は 20m シヤトルランのみの実施

中学生は持久走か 20m シヤトルランのどちらかを選択して実施

- ・質問紙調査(運動習慣、生活習慣、食習慣等)

② 学校に対する調査

- ・質問紙調査(子どもの体力向上に係る地域・家庭等との連携及び特別活動等)

3 調査学校数、児童生徒数

- ・調査学校数 約6千6百校(小学校:約4千4百校 中学校:約2千2百校)

【小学校調査】

	参加学校数(B)※	学校総数(A)	抽出率(B/A)
小学校	4, 350	23, 288	18. 7%

※うち特別支援学校(小学部)18校を含む

【中学校調査】

	参加学校数(B)※	学校総数(A)	抽出率(B/A)
中学校・中等教育学校	2, 211	11, 936	18. 5%

※うち特別支援学校(中学部)22校を含む

- ・調査児童生徒数 約42万人

小学生:約 21 万人(男子:約 11 万人、女子:約 10 万人)

中学生:約 21 万人(男子:約 11 万人、女子:約 10 万人)

II 調査結果の概要

1 今年度の児童生徒の状況

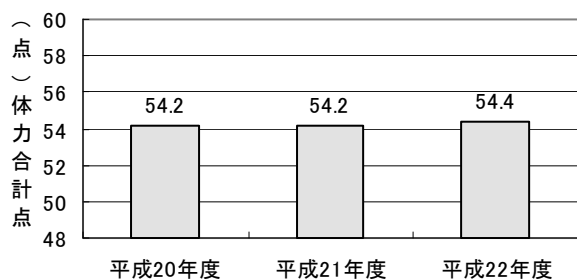
(1) 体力

① 体力合計点の推移 [報告書 50p・102p]

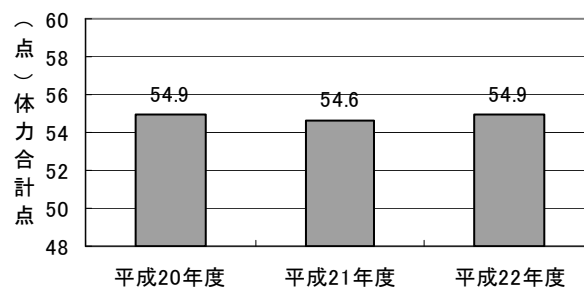
体力合計点は、小学校男女、中学校男女ともに、平成 20、21 年度に比べて、ほとんど変化はみられなかった。

小学校

【男子】

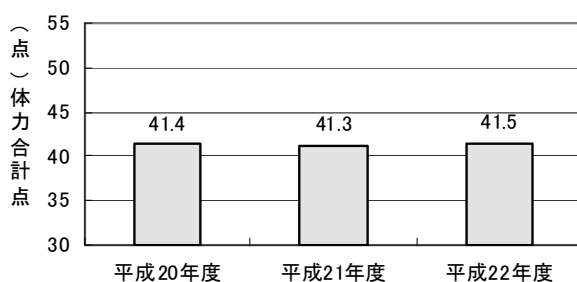


【女子】

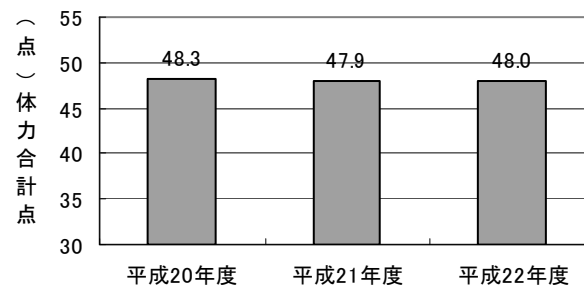


中学校

【男子】



【女子】



② 都道府県別の状況

都道府県別の体力合計点の状況は、小学校女子を除いて、過半数の地域が調査初年度の平成 20 年度から向上した。

都道府県別平成 20～22 年度の体力合計点の推移

※表内の数値は都道府県数

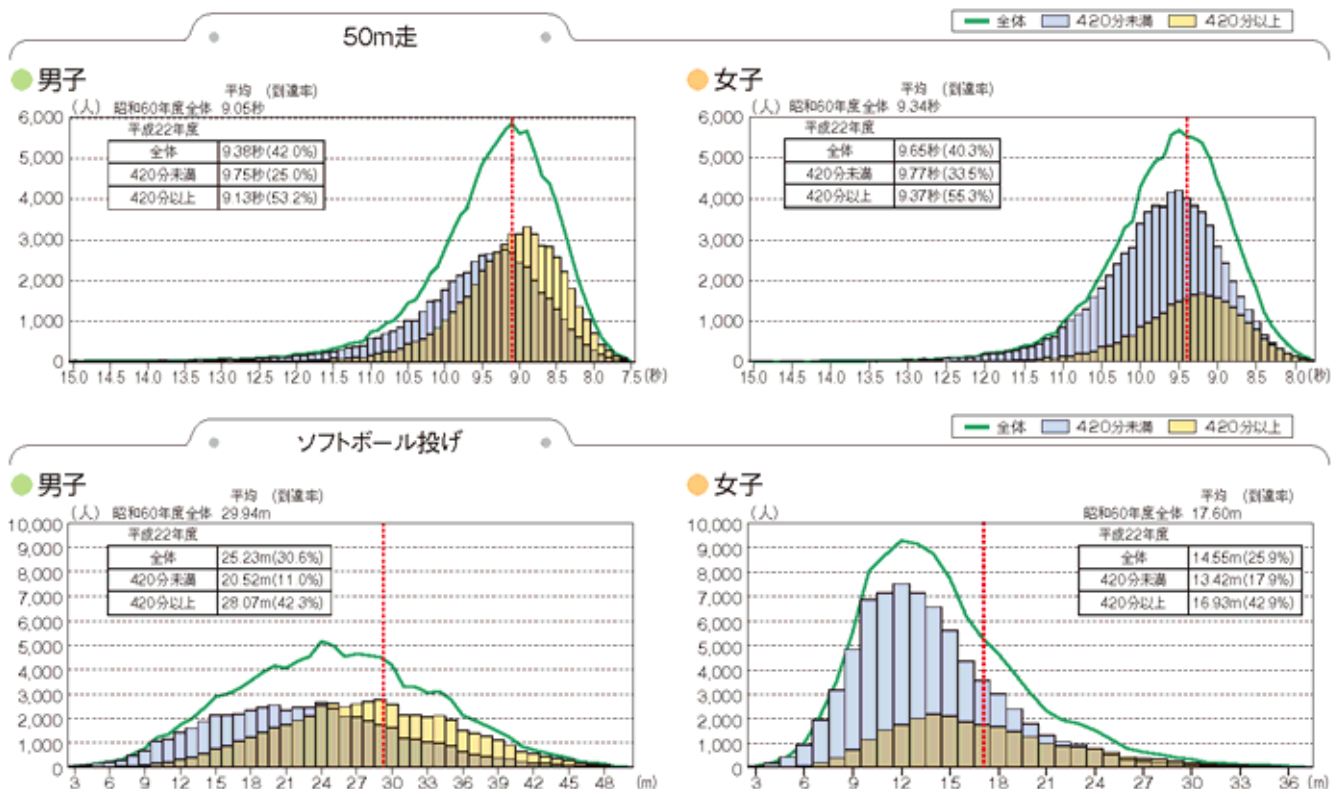
体力合計点の推移 (H22-H20)		小学校		中学校	
		男子	女子	男子	女子
向上	向上 ※H20と比較してH22が向上	30	21	31	26
	1点以上向上(向上の内数) ※H20と比較してH22が1点以上向上	(2)	(1)	(11)	(6)
低下	低下 ※H20と比較してH22が低下	17	26	16	21
	1点以上低下(低下の内数) ※H20と比較してH22が1点以上低下	0	(3)	(1)	(7)

③ 1週間の総運動時間からみた昭和60年度水準の到達率 〔報告書〕47p・99p

昭和60年度と比較可能な種目すべてにおいて、男女とも、1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒は420分未満の児童生徒に比べて、昭和60年度水準到達率（各種目の昭和60年度平均値に到達した児童生徒の割合）が高かった。

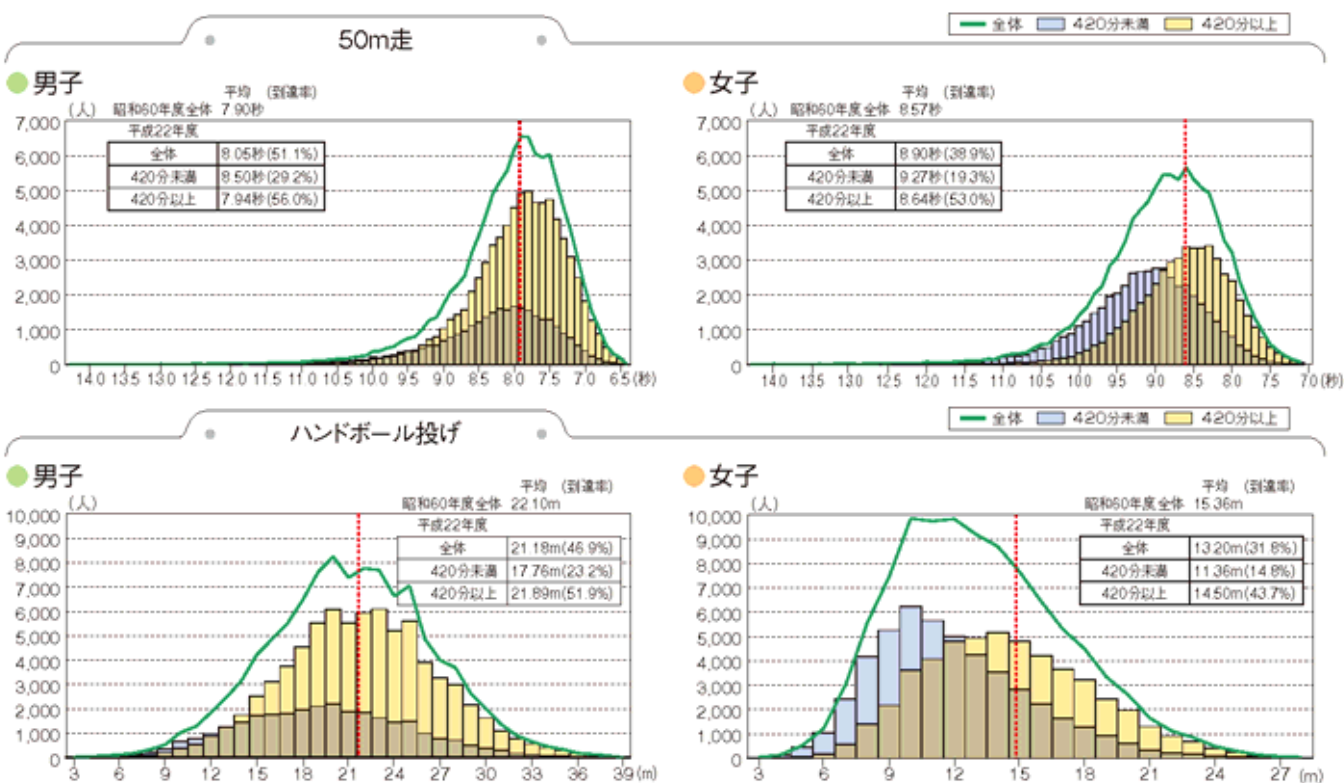
小学校

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率



中学校

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率

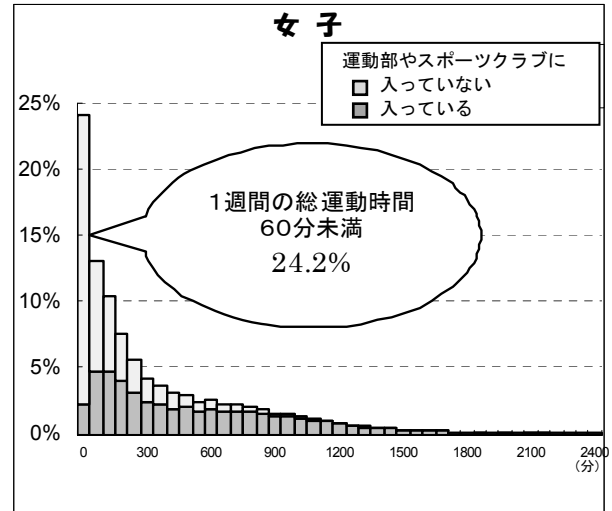
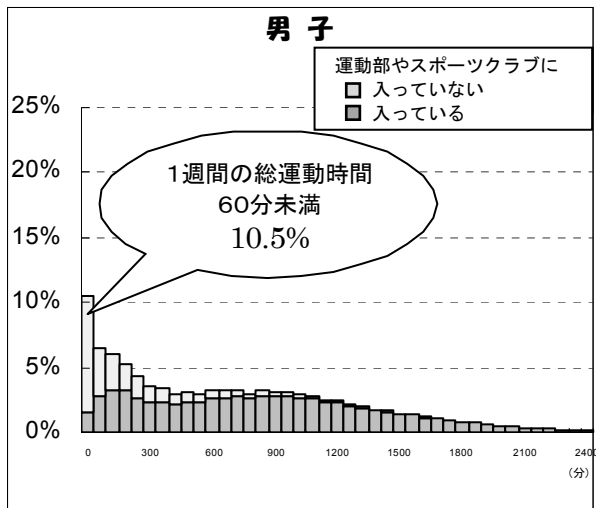


(2) 運動習慣、生活習慣

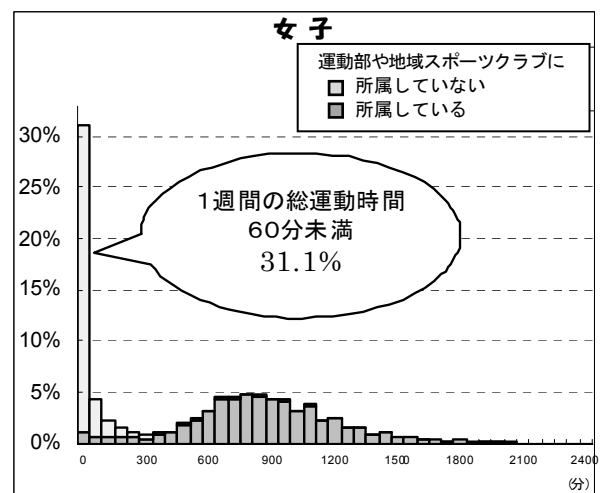
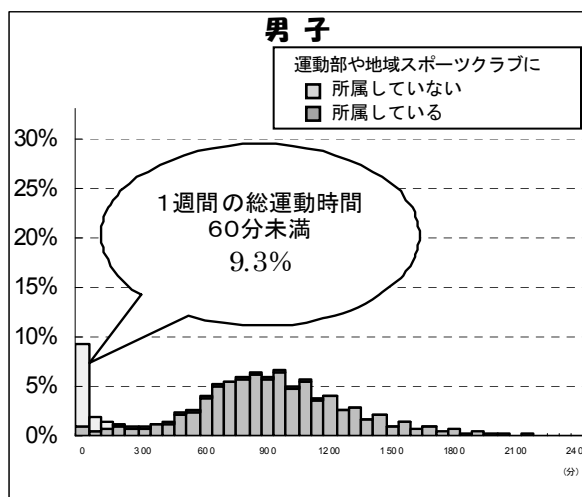
① 1週間の総運動時間の分布 [報告書]46p・98p]

1週間の総運動時間では、中学生で運動する生徒としない生徒の二極化がみられた。女子については、小学生で24.2%、中学生で31.1%が1週間の総運動時間が60分未満であった。

【小学生】



【中学生】

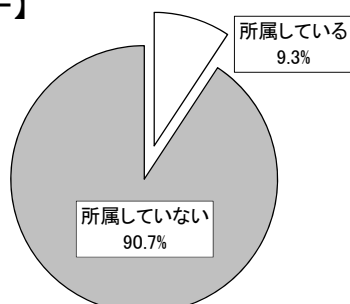


② 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の特徴 [報告書]48p・49p・100p・101p]

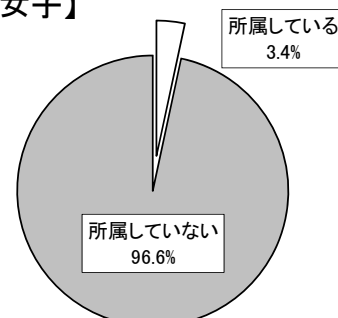
1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒では、運動部や地域スポーツクラブに所属している割合が少ない、「家の人と運動やスポーツの話をする」頻度が低い、運動やスポーツが「好き」の割合が低いなどの傾向がみられた。

① 運動部や地域スポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒)

【小学生女子】

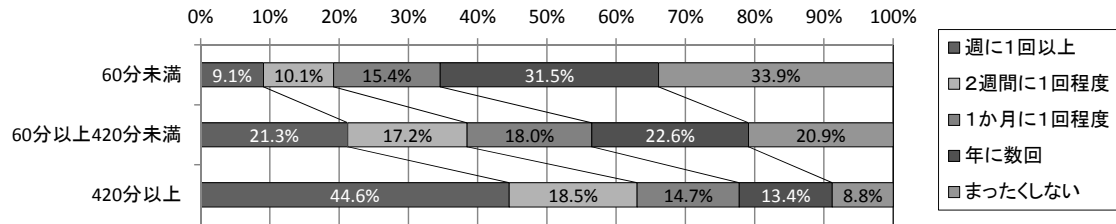


【中学生女子】

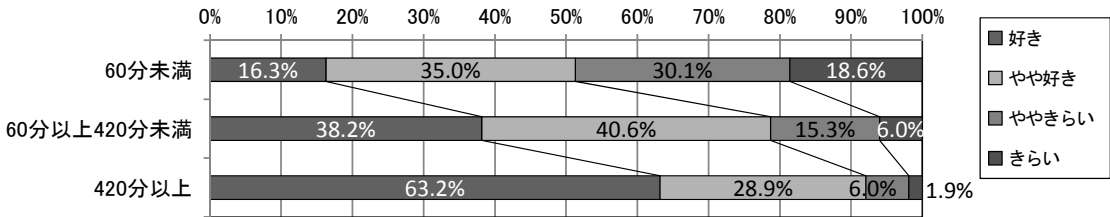




家の人と運動やスポーツの話をする(中学生女子)



運動やスポーツの好き・きらい(中学生女子)



2 家庭における「する」「見る(観る)」「話す」の効果(児童生徒質問紙調査)

(1) 家の人と運動やスポーツを「する」「見る」「話す」が児童生徒の運動時間、体力、意識にもたらす効果 [報告書] 53p・105p

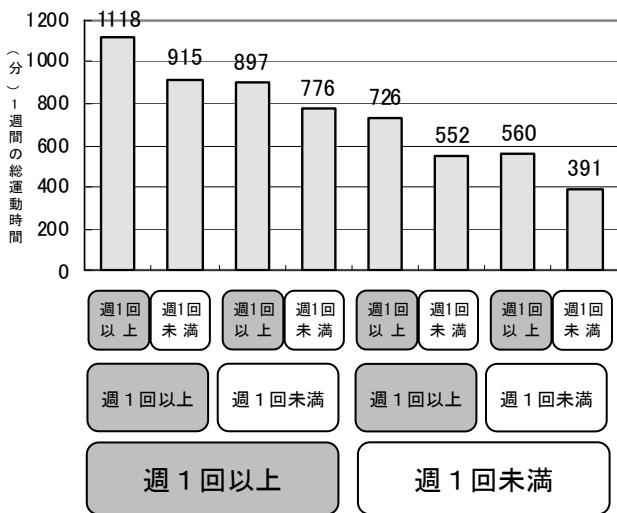


家の人と運動やスポーツを「する」「見る」「話す」と運動時間・体力との関連(小学生)

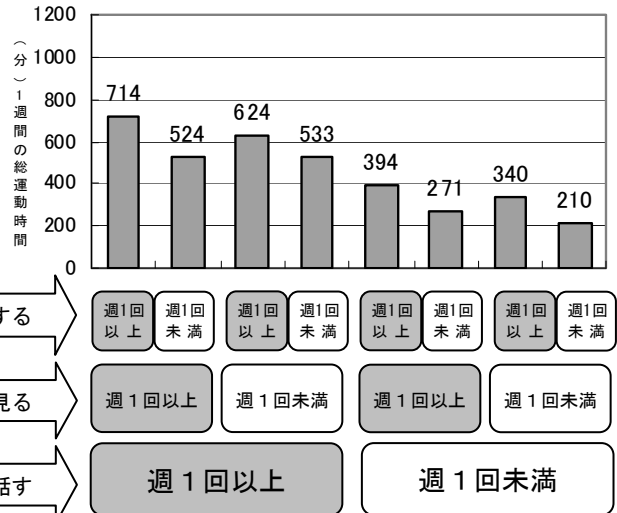
家の人と一緒に運動やスポーツを「する」「見る」「話す」頻度の高い児童は、運動時間、体力、運動やスポーツに関する意識ともに高い傾向がみられた。特に「する」「見る」「話す」がすべて「週1回以上」の児童は、すべて「週1回未満」の児童に比べて、1週間の総運動時間が男子で約730分、女子で約500分長く、体力合計点が男子で約8点、女子で約6点高かった。

1週間の総運動時間(小学生)

【男子】

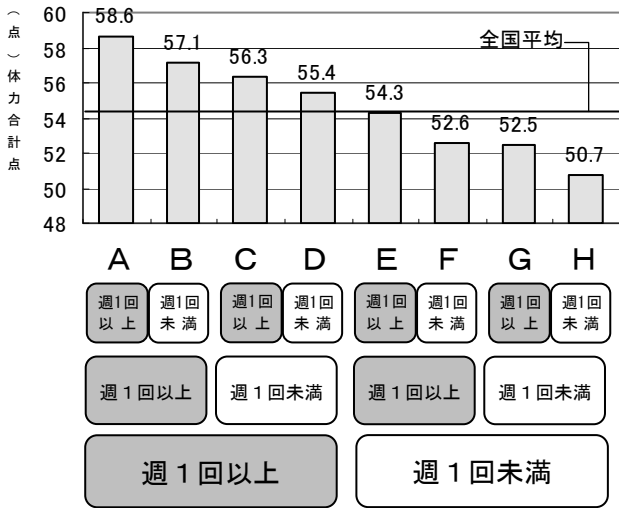


【女子】

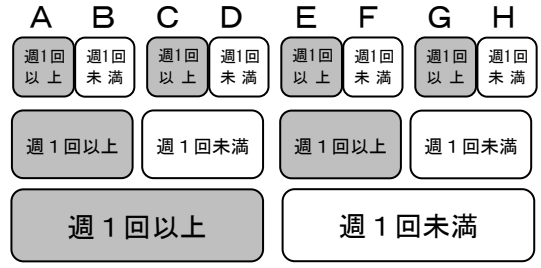
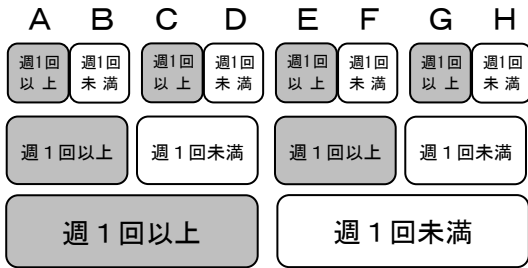
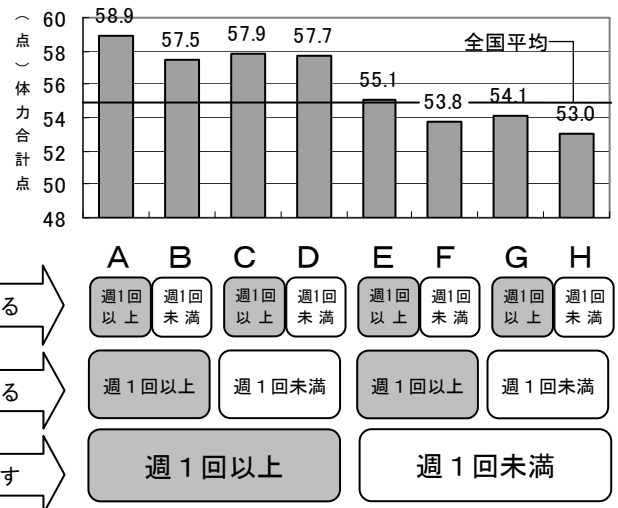


体力合計点（小学生）

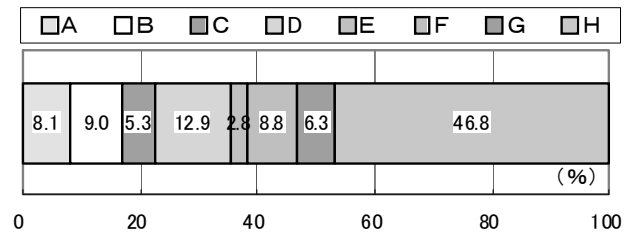
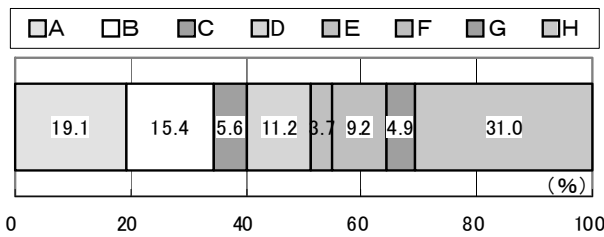
【男子】



【女子】



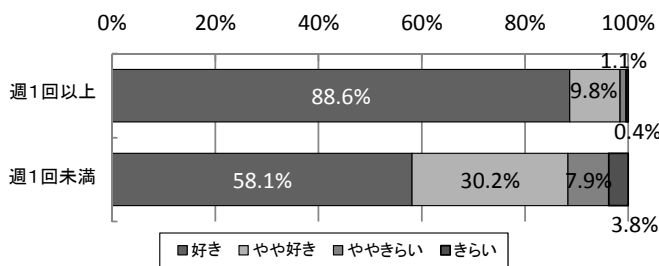
各カテゴリーの構成比



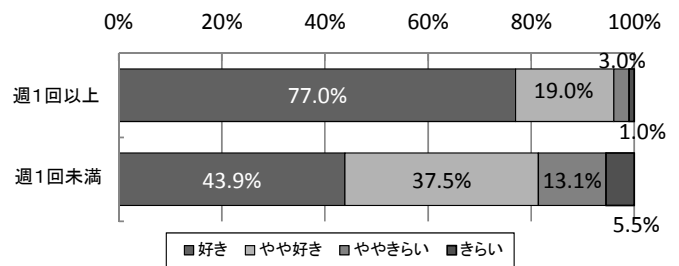
「家の人と運動やスポーツについて話をする」の回答と「運動やスポーツが好きか」との関連(小学生)

家の人と運動やスポーツの話を「週1回以上」する児童が、運動やスポーツが「好き」である割合は、男女とも「週1回未満」の児童に比べて高かった。

【男子】



【女子】



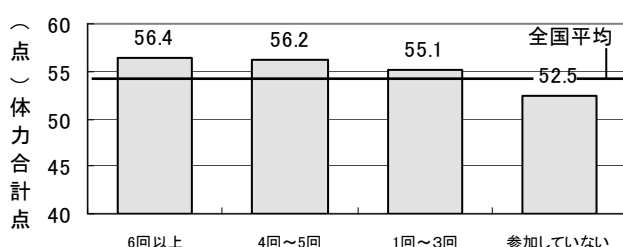
3 地域との連携が児童生徒の運動習慣にもたらす効果

(1) 地域への関わりと児童生徒の体力との関連

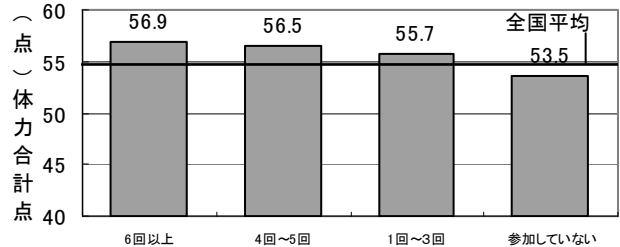
「地域の行事への参加回数と体力との関連(小学校)」 [報告書] 34p・86p

地域で実施される運動やスポーツに関する行事に「参加している」児童は、「参加していない」児童に比べて、体力合計点が高かった。

【男子】



【女子】



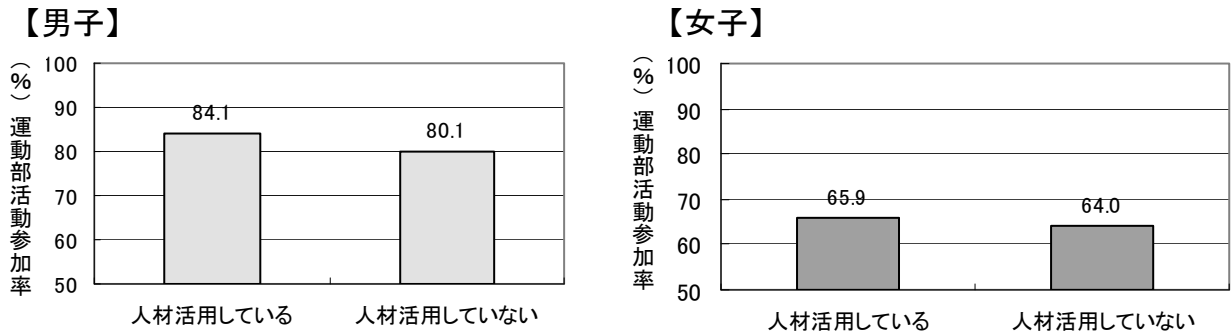
(2) 学校と地域の関わりと生徒の運動部活動への参加状況、体力との関連

[報告書 95p・107p]

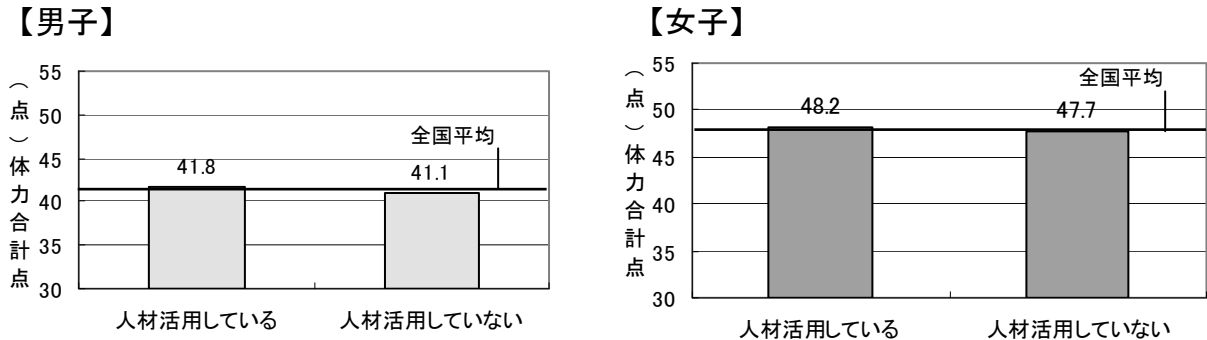
学校の活動への地域人材の活用と生徒の運動部活動参加状況、体力との関連(中学生)

学校が実施する運動やスポーツに関する活動に地域の人材を「活用している」学校の運動部活動参加率、体力合計点は「活用していない」学校に比べて高かった。

運動部活動参加率



体力合計点



4 平成20～22年度の3年間追跡調査

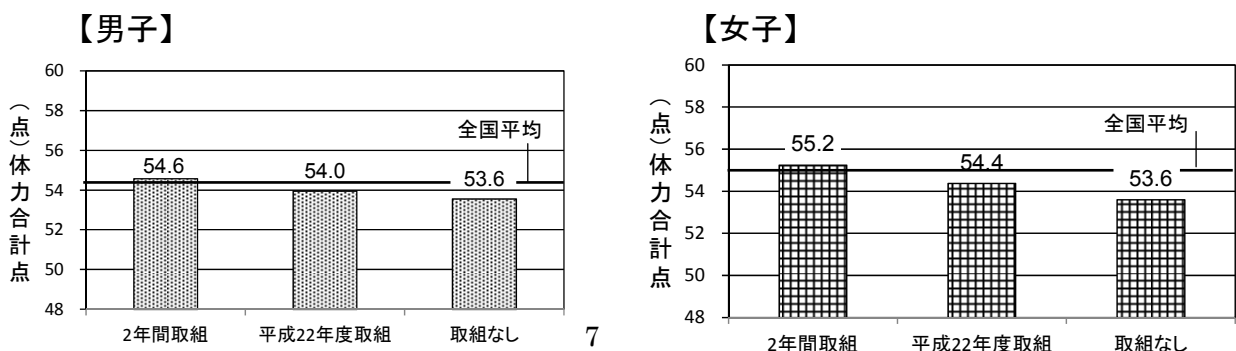
(1) 前年度の結果を踏まえた学校の取組の継続状況と、体力、地域・家庭連携との関連 [報告書 58p・110p]

【小学校】

■平成21、22年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか(取り組む予定ですか)」に対する回答をもとに、学校を以下の3群に分類した。(3,397校)
 「2年間取組」群…平成21、22年度ともに、取組をした(取り組む予定である)と回答した学校
 「平成22年度取組」群…平成22年度だけに、取組をした(取り組む予定である)と回答した学校
 「取組なし」群…平成21、22年度ともに、取組をしていない(行う予定はない)と回答した学校

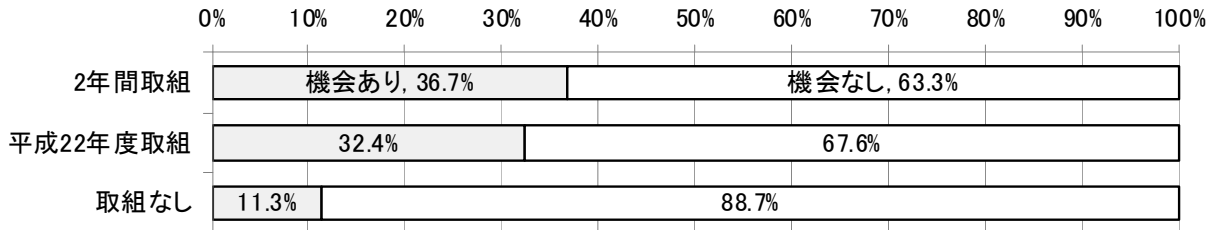
学校の取組の継続状況と体力との関連(小学生)

「2年間取組」群は、男女とも、体力合計点が最も高かった。



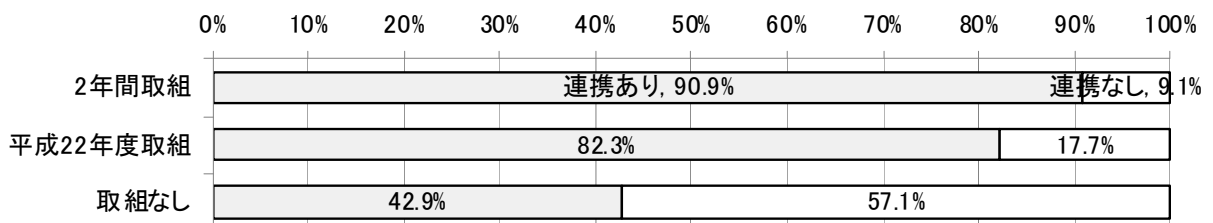
① 学校の取組の継続状況と地域と話し合う機会の関連(小学生)

「2年間取組」群は、「児童の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がある」割合が最も高かった。



② 学校の取組の継続状況と家庭との連携の関連(小学生)

「2年間取組」群は、「運動やスポーツ、子どもの体力について家庭と連携している」割合が最も高かった。



(2) 体力の維持・向上のための学校の取組 [報告書 58p・110p]

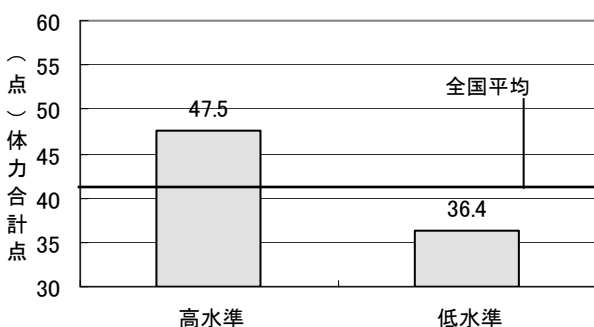
【中学校】

- 平成 20～22 年度の 3 年間を通して回答を得た、男子 1,479 校、女子 1,464 校を分析対象とした。
- 各年度の体力合計点をもとに、男女別に以下の 2 群を抽出した。
 - 「高水準」群・・・3 年間の体力合計点が平均して高かった 100 校
 - 「低水準」群・・・3 年間の体力合計点が平均して低かった 100 校

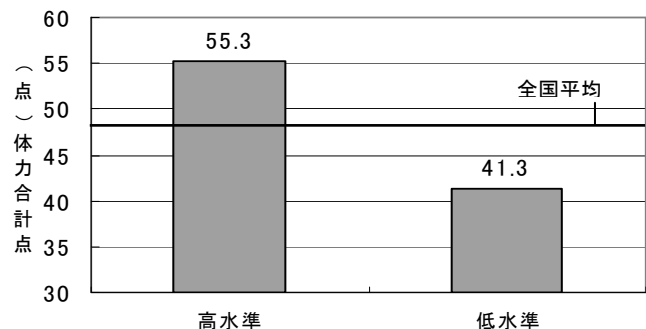
① 体力合計点(中学生)

「高水準」群は「低水準」群よりも、体力合計点が男子で 11.1 点、女子で 14.0 点高かった。

【男子】



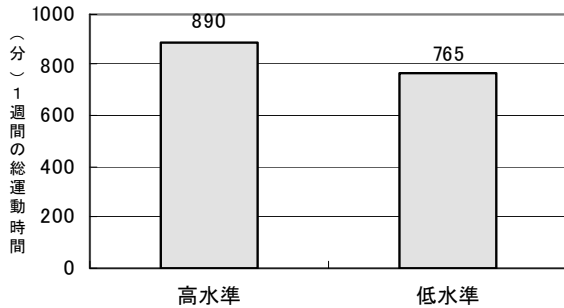
【女子】



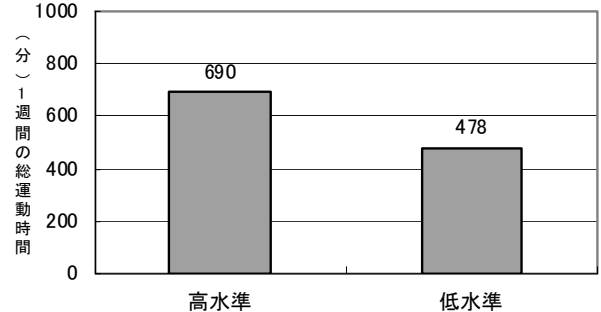
1週間の総運動時間(中学生)

「高水準」群は「低水準」群よりも、1週間の総運動時間が男子で約 130 分、女子で約 210 分長かった。

【男子】



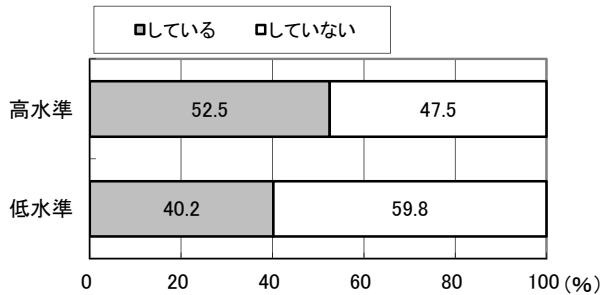
【女子】



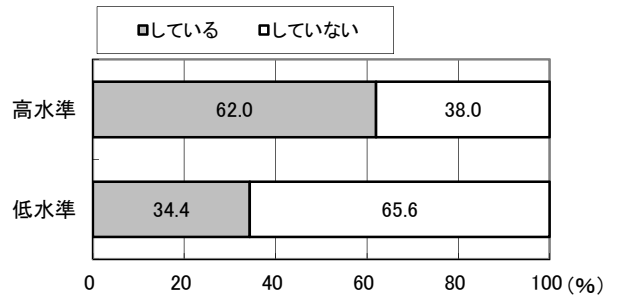
生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて(中学生)

「高水準」群は「低水準」群よりも、「生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」に取り組んでいる割合が高かった。

【男子】



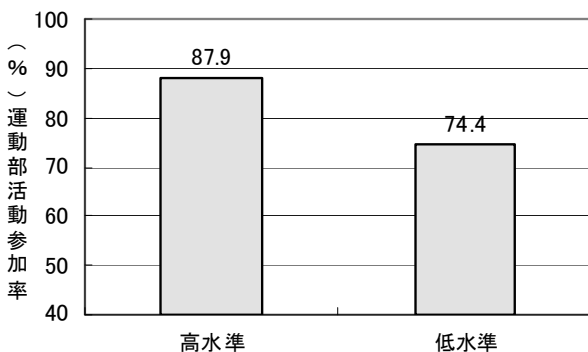
【女子】



運動部活動参加率(中学生)

「高水準」群は「低水準」群よりも、運動部活動参加率が男子で 13.5 ポイント、女子で 22.7 ポイント高かった。

【男子】



【女子】

